

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名		中学校教職員用パソコン整備					所管	教育委員会 庶務課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標]							[事業開始] 平成20年度	
		[小 柱]							[終了予定] - 年度	
		[施 策]								
	根拠法令等	その他		[法令等名]	要綱等なし					
	事業対象	直接的な対象:区立中学校 最終的な対象:区立中学校在生徒								
	事業目的	教職員用パソコンを整備することにより、校務事務の効率性を高めるとともに、生徒に関わる個人情報の保護を図る。								
	事業内容	平成21年度から平成22年度にかけて全校に導入された教職員用パソコンの整備・管理及び教職員LANシステムの管理を行う。また、安定した環境維持を図るため、パソコン機器の故障の際に修繕を行う。								
委託の有無	一部委託		委託内容	教職員LANシステムの運用						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		(単位)	目標値 (31年度)	26年度	27年度	28年度		
	活動指標	パソコン整備台数		台	230	212	212	212		
	成果指標									
	決算額 (単位:千円)					30,774	36,009	36,009		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				2,890	1,764	1,962		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				30,775	36,009	36,009		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0	0	0		
		総経費				33,665	37,773	37,971		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0		
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0		
一般財源(区負担額)				33,665	37,773	37,971				
前回評価から改善した事項	平成26年度にパソコン及び周辺機器を入れ替えたことにより、教育環境をより快適かつ効果的なものにすることができた。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	校務事務システムは効率的な学校運営に不可欠なものとなっており、今後も維持することが必要である。							
	効率性	3	教職員LANシステムが活用されることで、学籍簿や成績票等の情報共有や情報交換が常に行われ、校務に係る事務処理が効率的に行われている。							
	手段の適切性	3	校務事務の効率性を高めるとともに、生徒に関わる個人情報の保護には、適切な手段である。							
	目的達成度	3	教職員LANシステムが活用されることで、学籍簿や成績票等の情報共有や情報交換が常に行われ、目的は果たされている。							
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
円滑で効果的な学校運営を行う上で教職員LANシステムは有効に機能しており、今後も維持する必要がある。							維持			